

地方公共団体による再犯防止の取組を促進するための協議会 2025/7/25

再犯防止の取組への期待

あひる一会/被害者と司法を考える会 代表

片山徒有 かたやま ただあり JDX00314@nifty.com

お伝えしたいこと

- 再犯防止と被害者について
- 被害者感情の理解について
- 再犯防止理念の根底にあるもの
- 地方公共団体への期待

自己紹介

- 自己紹介
- 片山隼（しゅん）の事故から考えたことなど
- 1997年11月28日という日
- 1998年1月23日 東京地方検察庁で起こったこと
- 不起訴と被害者
- 検察審査会とは
- 刑事裁判とは
- 2006年に再び犯罪被害者となった経験から学んだこと

心情伝達制度を歓迎する理由について

多様な被害者の
心情を受け止めて
貰えること

矯正教育で
個別被害者の
心情がわかること

教育や処遇の
成果を聞けること

施設内処遇の
被害者理解への
期待

被害者の心情を
ダイレクトに
伝えられる意義

再犯、再非行抑止
に繋がる
→被害者が出ない

被害者について

- 犯罪被害者
 - 犯罪のつかない被害者
 - 遺族
 - 兄弟姉妹
 - 親または子
 - 親戚
 - 関わること
 - 国との関わり
 - 加害者との関わり
-
- 加害者について
 - 責任範囲は明確
 - 国家への責任
 - 民事責任
 - 社会責任
 - 道義的責任
 - その他

再犯防止についての関心点

犯罪と
被害者・地域社会
との関わりについて

被害者遺族の
解決への道

修復的司法の可能性

再犯についての
考え方

一般改善指導や
特別改善指導

社会内処遇の重要性

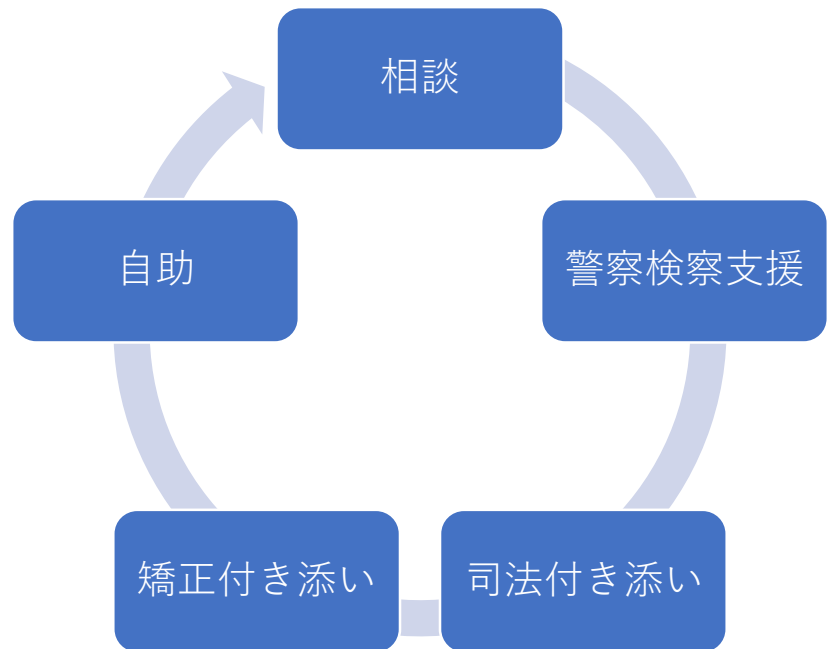
地方公共団体
における再犯防止

被害者と加害者について

- 犯罪被害者
- 犯罪のつかない被害者
間接的に被害を受けた人
- 遺族
 - 兄弟姉妹
 - 親または子
 - 親戚
- 関係性の難しい被害者
婚約者 事実婚など
- 加害者について
 - 責任範囲は明確
 - 国家への責任
- 民事責任
 - 社会責任
 - 道義的責任
 - その他



支援プロセス



犯罪被害者 等基本法・ 基本計画

- 基本法
- 平成16年成立
- 尊厳にふさわしい処遇
- 適切な施策
- 途切れることなく支援

- 基本計画
- 平成17年策定
- 19項目の推進体制
- 刑事手続きの関与拡充
43施策
- 合計258施策
- 刑事司法への被害者参加
- 少年審判傍聴
- 仮釈放審理に意見を

行政、司法、 被害者が 考える今後

- 法制度の改革について
- 被害者等通知制度
(検察官通知制度)
- 犯罪被害者等基本計画の推進
- 経済損失被害への改善 (検討中)
- 処遇段階の大幅拡大
(24段階に拡大)
- 教育刑の拡大の可能性 (拘禁刑)
- 厳罰化傾向の流れ
交通事件 性犯罪
侮辱罪
- 被害者等の心情等の
聴取・伝達制度 (新設)
- 地方公共団体における再犯防止 (再犯防止)

更生の可能性に期待するもの

被害者の視点を取り入れた教育 「プログラムの充実」

- 講演で被害者の心情を理解
(victim impact panel)
- グループワークで相互に考え
を受け止める
- 個別指導

被害者の理解と共感

個別事件への向かい合い

個別被害者
への思い

どうして事
件や非行に
至ったか

家族や社会
との向かい
合い

自身が立ち
直る為に必
要なこと

加害者との関わり

講演 講話

個別指導、グループワーク

被害経験

社会の課題

少年、受刑者の課題

認知

- 被害者とは
- 悲しい経験

共感

- 更生と幸福

回復

- 個別課題と目標

被害者等 心情伝達 制度の導 入

- 刑務所・少年院で実施
 - 処遇・教育ともに関わる
 - 更生プログラムにも影響を与える
 - 結果を被害者に通知
 - 原点は2020の法制審議会での取りまとめ
 - 被害者感情の矯正施設への反映に近づいた
 - 2023年12月開始
- これまで保護で行われていた制度の連携
 - 制度の周知が望まれる
 - 具体的な導入方法に注目
 - 職員の負担に配慮
 - 被害者支援も変化を求められる

矯正段階 の主なポイント

- (成人)

- 一般改善指導

- →再犯を防ぐ為に何が問題だったのか

- →幸せになる為に何が出来るのか

- 特別改善指導

- 指標について考えるきっかけを作る

- 幸せになる為に何をすべきか考える

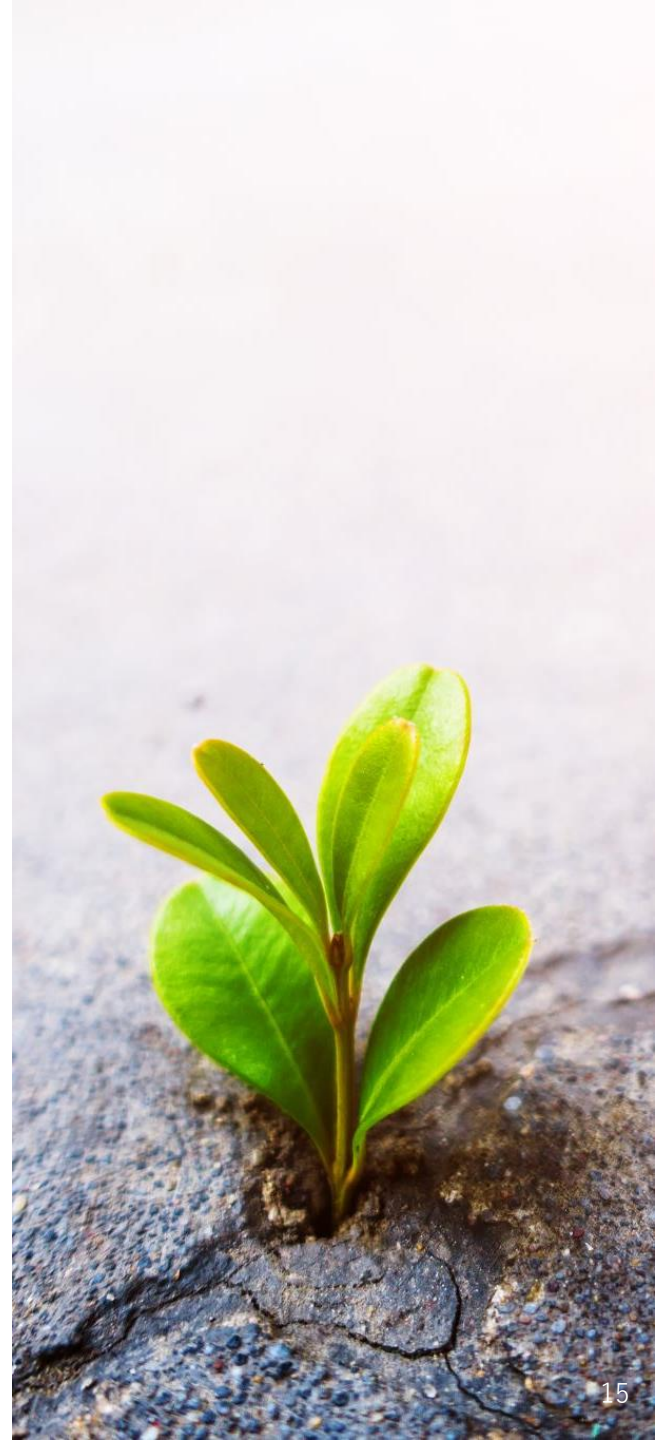
- (少年)

自らに加えて社会、家族、親友、被害者、それぞれの未来を考える

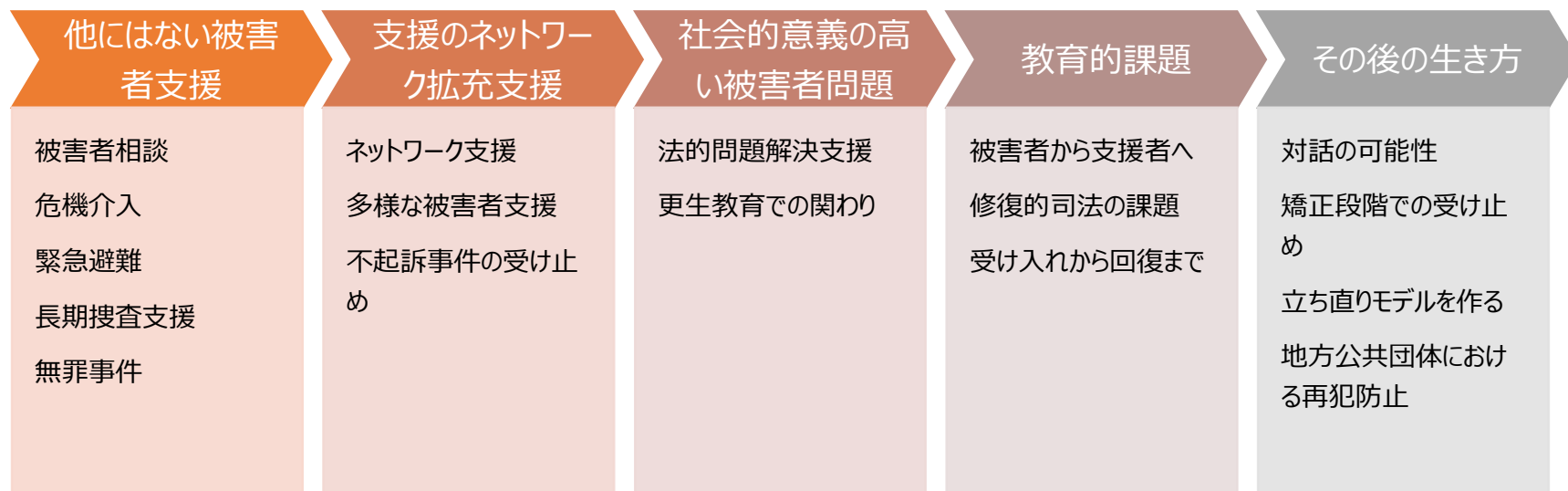
社会内処遇の可能性を考える

被害者の 求めるもの の基本

- 情報開示
- 心からの謝罪
- 二度と同じ思いを
味わって欲しくない
- 時計の針を元に戻
したい
- 亡くなった家族が
戻って来て欲しい
- 元通りの生活
- 平和
- 希望
- 信頼



被害者支援の課題

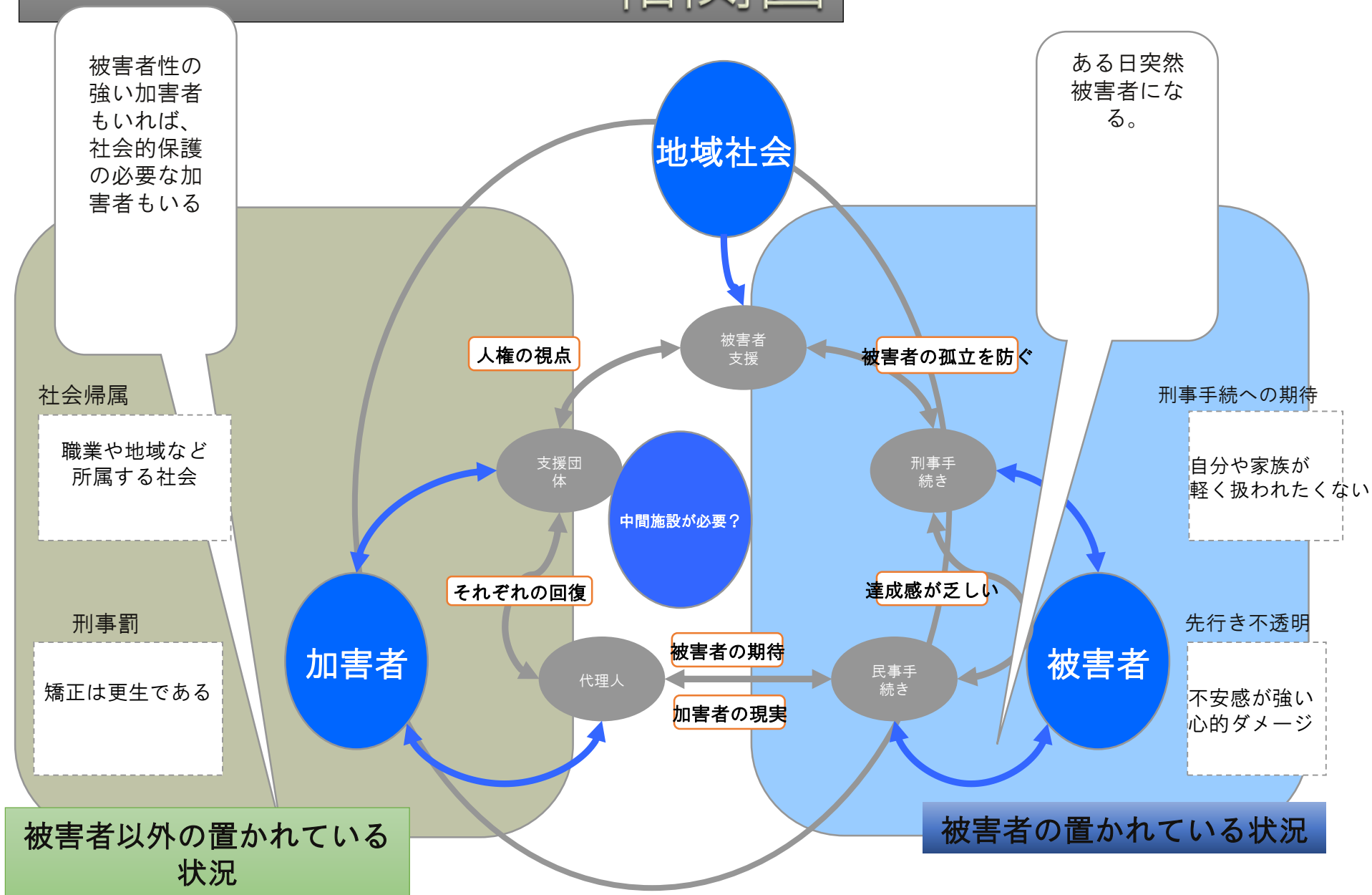


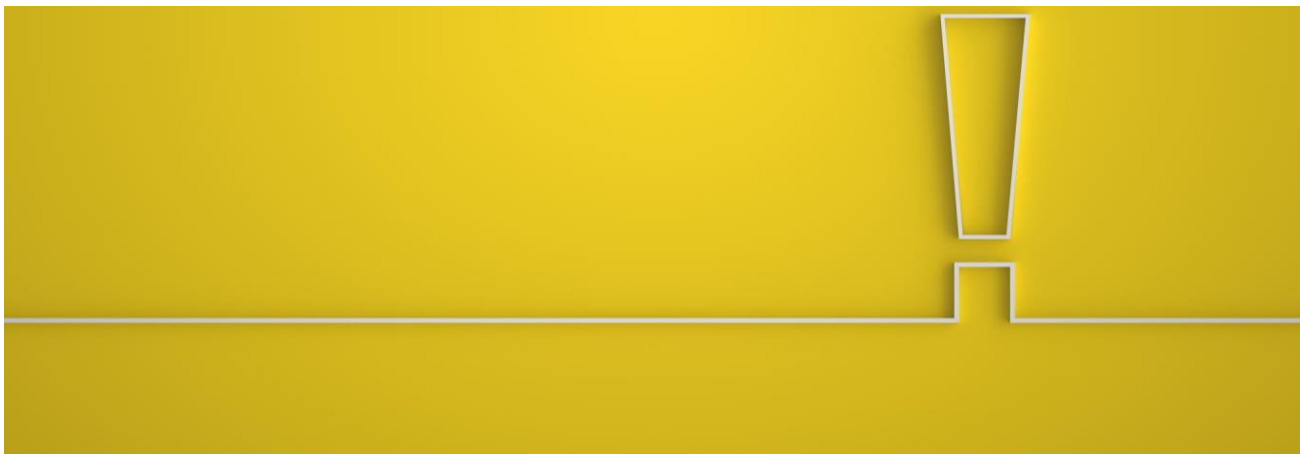
地方公共団体への期待

- 犯罪や非行の加害者に対する事柄
- 保護観察所
- 地方自治体のネットワーク
- 海外の事例から学ぶこと
- (Delancey Street Foundation) サンフランシスコ
- (Exodus Transitional Community, Inc.) ニューヨーク

- 被害者に対する事柄
- 更生に関する事柄
- 再犯に関する事柄
- 人、組織、ネットワーク作り
- 当事者が幸せになること

相関図





- ご感想、ご質問はこちらまでお気軽に
- あひる一会 （あひるのいちえ）代表
- 片山 徒有 かたやま ただあり jdx00314@nifty.com
- 令和5年10月5日現在の資料で作成しました

最後までありがとうございました